

英語 (50分100点満点)

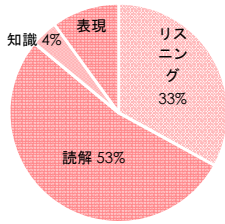
大問	出題内容	問題数	配点	配点割合
1	リスニング	9	33	33%
2	長文	8	29	29%
3	長文	8	28	28%
4	英作文	1	10	10%
5				
6				
7				
8				
9				
10				

英語は、リスニングと長文問題が2題、英作文が出題されました。また、問題数は26間で、試験時間は50分でした。

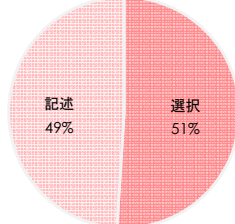
問題は、読解を中心とする構成で、英文を読まなければ解くことができない問題の配点は53%を占めています。文法や英単語をしっかりと身につけて、日頃から英文を読む練習をしておきましょう

問題形式別にみると、記述問題の配点は49%を占めています。記述問題は主に英問英答、空所補充、英作文、並べ替えが出題されています。

出題別配点割合



問題形式別配点割合



入試に向けてのアドバイス

- ① 単語・文法などの知識を身につけよう
- ② 英文を読む練習を行おう
- ③ リスニングを日ごろの学習に取り入れよう
- ④ 英文を書く練習を行おう

数学 (50分100点満点)

大問	出題内容	問題数	配点	配点割合
1	小問集合	9	36	36%
2	平面図形・空間図形	5	23	23%
3	2次関数	6	23	23%
4	平面図形	3	18	18%
5				
6				
7				
8				
9				
10				

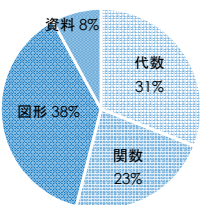
数学は、小問集合、図形問題、2次関数が出題されました。また、問題数は23間で、試験時間は50分でした。

基本問題が多く出題される小問集合の配点が全体の36%を占めています。ここで確実に得点できるように、日ごろから計算や基本問題を速く正確に解くための練習を重ねておきましょう。

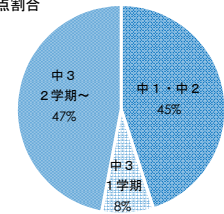
領域では、図形が38%の配点があります。中3の2学期以降に学習する相似や三平方の定理が出題されますので、早めに基本の学習を終わらせて、演習量を確保できるような計画を立てておきましょう。

また、全国的に問題文をよく理解しておかないと解けない活用問題が出題される傾向にあります。他の都道府県の入試問題を解くなど準備しておくとういでしょう。

領域別配点割合



学年配点割合



入試に向けてのアドバイス

- ① 小問集合で満点を目指そう
- ② 中3範囲を早期に終わらせよう(図形対策)
- ③ 中1・中2の復習をしっかりと行おう
- ④ 関数や数と式の活用型問題に取り組もう

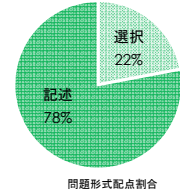
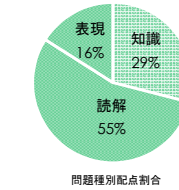
国語 (50分100点満点)

大問	出題内容	問題数	配点	配点割合
1	説明的文章	5	33	33%
2	説明的文章(複数文)	4	35	35%
3	語彙・語法・詩	15	32	32%
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

国語は、説明的文章、話し合いを絡めた説明的文章、語彙・語法、詩が出題されました。また、問題数は24間で、試験時間は50分でした。

英語と同様に読解が中心の構成になっています。配点の55%が読解問題となりますので、問題集などを用いて演習を行っておきましょう。一方で、知識問題も出題されています。漢字、言葉の意味、文法、古典の基本を身に付けておきましょう。

また、作文も出題されています。配点が高い傾向にありますので、少しずつよいので日ごろから文を書く練習をしておきましょう。



入試に向けてのアドバイス

- ① 多くの読解問題に取り組もう
- ② 知識(漢字など)は日ごろから学習しておこう
- ③ 作文の対策をしておきましょう

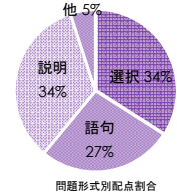
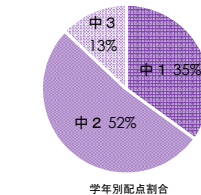
理科 (50分100点満点)

大問	出題内容	問題数	配点	配点割合
1	水溶液とイオン(化学)	6	25	25%
2	電流と電圧(物理)	5	25	25%
3	火山と地震、地層の重なり(地学)	5	25	25%
4	生物の観察、植物のはたらき(生物)	6	25	25%
5				
6				
7				
8				
9				
10				

理科は、化学、物理、地学、生物が1題ずつ計4題出題されました。また、問題数は22間で、試験時間は50分でした。

理科は、どの領域もまんべんなく、かつ配点もほとんど同じになるように出題されています。ですので、理科の学習は苦手単元を作らないことが最重要です。出題は、基本的に実験や観察の過程や結果から考察させる問題が出題されます。語句を覚えるだけではなく、実験や観察問題の演習も行いましょう。

また、配点の66%が記述問題です。典型的な計算問題や用語や説明問題対策を必ずしておきましょう。



入試に向けてのアドバイス

- ① 苦手な領域や単元を作らないようにしましょう
- ② 実験・観察問題に取り組もう
- ③ 記述問題(計算・用語・説明)を対策を行おう

社会 (50分100点満点)

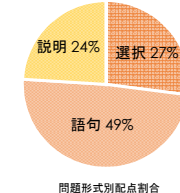
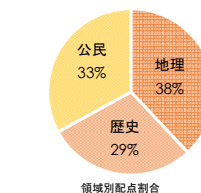
大問	出題内容	問題数	配点	配点割合
1	日本地理	8	31	31%
2	歴史公民総合	10	39	39%
3	公民(政治・経済)	8	30	30%
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

社会は、地理、歴史公民総合、公民の計3題出題されました。また、問題数は26間で、試験時間は50分でした。

どの分野からもまんべんなく出題されており、特に地理や歴史の配点は67%を占めていますので、復習は必ず行いましょう。

また、記述問題は配点の73%を占めています。

用語、説明問題いずれも出題されていますので、対策をしておきましょう。



入試に向けてのアドバイス

- ① 地理・歴史の復習を早めに行おう
- ② グラフや資料問題に取り組もう
- ③ 記述問題対策を行おう